

神戸薬科大学研究論集



vol.18

目 次

[資料]

上田久美子、寺岡麗子、竹内敦子、安岡由美、 内田吉昭、八巻耕也、土生康司、宮田興子、 中山尋量、北河修治	薬学教育早期体験学習におけるピア評価の試み……………	1
--	----------------------------	---

[報告]

上田久美子、寺岡麗子、八巻耕也、土生康司、 宮田興子、中山尋量、北河修治	チーム基盤型学習を用いた分野横断 統合演習の構築の試み その2……………	13
---	---	----

[報告]

上田久美子、寺岡麗子、八巻耕也、土生康司、 宮田興子、力武良行、中山尋量、北河修治	チーム基盤型学習を用いた分野横断 統合演習の構築の試み その3……………	29
--	---	----

[研究ノート]

児玉典子、小山淳子	チーム基盤型学習におけるピア評価の重要性の認識 及び関連因子の探索……………	45
-----------	---	----

[報告]

藤波綾、小山淳子、児玉典子	血糖値測定の話義を介した糖とその誘導体の重要性の 理解度に関する調査・考察……………	59
編集後記	……………	73

2018

編 集 後 記

★優れた医療人を育成・輩出し、国民の健康寿命の延伸に寄与することは薬学部の使命の1つです。したがって、薬学教育の充実・発展は領域を問わず、我々、教職員が常に意識して取り組むべき重要なテーマと認識しております。今号では、薬学教育に関する5本の投稿があり、各領域における研究活動の成果をご報告頂きました。教育方法の有用性評価には、基礎研究や臨床研究とは異なる難しさがあり、研究デザインやデータ取得、統計解析、倫理的な配慮などの側面において、方法上の課題を抱えているように感じております。本誌が議論の場となり、当該分野の一層の発展に貢献できるよう、編集担当の立場からお手伝いできれば幸いです。

(森脇)

★久しぶりの編集委員です。今回は最後のお勤めとなります。リブラには私も、アリストテレスの「ニコマコス倫理学研究」(未完)、ダニエル・キャラハンのWhat Kind of Lifeの研究ノート、18世紀のスコットランド啓蒙期のジョン・グレゴリーの「医師の資格と義務」の翻訳、さらに、社会薬学関係の論文や科研関連の報告書など、十数本掲載させてもらって感謝しています。ものを書けば必ず不満が残りますし、別の課題も見えてきてars longa, vita brevisを痛感します。何とか残り少ない時間に、やり残したことを少しでも片づけたいと思っていますが、どうなりますか。それはともかく後1年の勤めを全うしたいと思います。(松家)

★神戸薬科大学Libra編集委員として今年度から参加させていただき、投稿される先生方の教育及び研究への熱い思いを受け取るとともに、編集委員会では分野を超えて活発な意見交換ができましたことを感謝申し上げます。私自身はこれまで著者として参加してまいりましたが、本誌を通じて、学会などで学外の先生方と意見交換をさせていただく機会も増えてきたと実感しております。また、本誌は様々な専門分野を背景とした先生方が投稿されていることから、分野問わず幅広い知識と視野を養うことができる貴重な機会と考えております。これからも本誌が先生方のご研究に貢献できるよう、また本誌から多くの情報を発信できるよう努めてまいりたいと思います。(児玉)

★☆編集方針

1. 本誌の性格 人文、社会諸科学、語学、数学の幅広い分野において、斬新な問題を提起している論文、オリジナリティーがありかつ学問的実証にも耐えられる論文を掲載し、学問の総合的发展に寄与することを目標とする。旧来の紀要の枠を越えた年報を目指す。
2. 応募資格 応募資格は本学の専任・非常勤教員に限定する。
3. 内 容 人文科学、社会科学、語学、数学、社会薬学の分野を対象とする。本学非常勤の教員は、審査の都合上、英語学・英文学、英語教育、ドイツ文学、哲学、倫理学、社会薬学、薬学教育の分野に限定する。
4. 分類項目 提出された原稿は「論文」、「翻訳」、「研究ノート」、その他（たとえば「書評」、「学会報告」など）に分類する。
5. 論文の審査 提出された論文はレフェリー（学外者も含む）の査読報告を参考にし、編集委員会の責任において審査して掲載の可否を決定する。部分的な修正の上、掲載を認めることもある。
6. 原稿提出 論文投稿は随時、その他「研究ノート」等は毎年9月末日締切

★☆執筆要領（概要）

1. 使用言語 日英独語に限る。
2. 論文の枚数
 - 〔和文〕・400字詰原稿用紙100枚以内
 - ・ワープロ用紙なら44枚以内（1ページの字数は、横書きで35字×26行、縦書きで50字×18行）
 - 〔欧文〕・7000語以内論文以外の場合は目安を設けない。

※投稿希望者には、別紙の詳しい執筆要領をお渡しします。編集委員会までご連絡下さい。

(Eメールアドレス：libra@kobepharmaceutical-u.ac.jp)

執筆者紹介

上 田 久美子 (代表執筆者・本学講師・薬剂学研究室・薬物動態学, 薬学教育)

児 玉 典 子 (代表執筆者・本学准教授・薬学基礎教育センター・薬学教育, 生命科学)

藤 波 綾 (代表執筆者・本学講師・病態生化学研究室・病態医化学, 応用健康医学、病態検査学)

第18号編集委員 (◎は編集委員長)

松 家 次 朗 (本学教授・社会科学研究室・哲学, 倫理学, 社会薬学)

児 玉 典 子 (本学准教授・薬学基礎教育センター・薬学教育, 生命科学)

◎森 脇 健 介 (本学准教授・医療統計学研究室・医療統計学, 医療技術評価)

2018年12月31日 発行

神戸薬科大学
研究論集

Libra 第18号

発行人 神戸薬科大学 教養・社会薬学系共同研究室
神戸市東灘区本山北町4丁目19-1 〒658-8558
TEL 代表 (078) 453-0031
TEL 直通 (078) 441-7581
FAX (078) 441-7582

印刷所 交友印刷株式会社
神戸市中央区港島南町5丁目4-5 〒650-0047
TEL (078) 303-0088
FAX (078) 303-1320

The Journal of
KOBE PHARMACEUTICAL UNIVERSITY
in Humanities and Mathematics
vol. 18 (2018)

CONTENTS

« Material »

Kumiko Ueda, Reiko Teraoka, Atsuko Takeuchi, Yumi Yasuoka,
Yoshiaki Uchida, Kouya Yamaki, Yasushi Habu, Okiko Miyata,
Hirokazu Nakayama, Shuji Kitagawa

A Trial of a peer-review during an early exposure program in
pharmaceutical university education 1

« Report »

Kumiko Ueda, Reiko Teraoka, Kouya Yamaki, Yasushi Habu,
Okiko Miyata, Hirokazu Nakayama, Shuji Kitagawa

A Trial of a New Integrated Cross-field Pharmaceutical
Seminar as a Team-based Learning with Application
Exercises 13

« Report »

Kumiko Ueda, Reiko Teraoka, Kouya Yamaki, Yasushi Habu,
Okiko Miyata, Yoshiyuki Rikitake, Hirokazu Nakayama, Shuji Kitagawa

A Trial of a New Integrated Cross-field Pharmaceutical
Seminar as a Team-based Learning: Cooperation with Clinical
Doctors and Preparing an Application Exercise Based on a
Readiness Assurance Test..... 29

« Notes » Noriko Kodama, Junko Koyama

A search for factors related to recognition for importance of
peer evaluation in Team-based learning 45

« Report » Aya Fujinami, Noriko Kodama, Junko Koyama

A questionnaire survey and discussion on the student's
understanding of the importance of glucose and its derivatives
via the lecture about blood glucose measurement-Aiming to
collaborate between basic subjects and specialized subjects- ... 59

From the Editors 73